



吉田小中学校は、
コミュニティ・スクール

第26号 発行者：吉田小中学校コミュニティ・スクール
(令和5年7月27日)



会長あいさつ 吉田小中学校コミュニティ・スクール会長 森脇 一弘

本年5月より新型コロナウイルス感染症は感染症上の分類が季節性インフルエンザと同等の5類へと移行することとなりました。このことを待ち望んでいたとは言え、ほぼ3年間に及んだコロナ禍からの移行は、容易なことではないとも思えます。そして、「普通・日常とか当たり前？」といった漠然とした疑問さえも感じるようになった人も少なくないと思います。これまでは新型コロナウイルスの感染対策のために、一定の制約が当たり前となっていました。そして、未だに新型コロナウイルス感染症が収束していない不安の中にあります。子どもたちは、この3年間にあって「コミュニケーション」や「他者とのふれあい」などフェイストゥフェイスで、ある程度の密さを必要とする経験なども致し方なく制限され、棚上げされてきました。そして、社会的には偏見や差別なども大きな問題となっていました。ただし、一方ではそれらのこと自体の意味や課題についても、お互いに深く共有しづらくなっているのかもしれない。

今、社会は、多様性を認めていこうという社会へ変化をしているようです。しかし、それに反して、大きな教育上の理念や社会的な価値がとても共有しづらくなってきているとも言われています。多様性を理解するうえで、「多様性」は「他容性」と置き換えられると聞いたことがあります。ただ、同時に「他容性」を真に目指すことが決して容易ではないことも想像に難くありません。何故ならば、自分自身や社会のあるべき姿や理想(例えば「自分のしあわせ」=「他のしあわせ」へと近づく等)に向かう為に、その手段や過程また手間をどのように持ち得るかが、とても大きな問題だと感じるからです。我々大人は勿論ですが、これから人格と自我を形成していく子どもたちにとっては、用意された答え(普通・当たり前など)を知る知識も必要なのですが、自分自身の試行錯誤や他者との対話を通して、自分なりに問題を乗り越えていくいわゆる主体性を持続的に発揮できること(手段や過程また手間をかけ身に付ける)がとても大切なことなのかもしれません。「主体的・対話的で深い学び ※学習指導要領」の理念の上で、学校運営協議会委員としてこれからも吉田小学校・中学校の学びの姿やご尽力下さる先生方を微力ながら、応援してまいります。

令和5年度 吉田小中学校コミュニティ・スクール委員



副会長 副島 謙一
(黨元協同組合)



井上 親司
(吉田コミュニティ事務局)



馬場 孝宏
(元吉田小中学校PTA会長)



江口 義夫
(吉田小中学校PTA会長)



小野 求
(活き生き吉田会会長)



八谷 和代
(元佐賀県スクールソーシャルワーカー)



諸石 州正
(吉田小中学校PTA副会長)



辻 諭
(224ポーセリン)

植松 かおり(吉田小校長)

中野 宗利(吉田中学校長)

北村 英(吉田小教頭)

藤家 孝太郎(吉田中教頭)

井手 直生(吉田小教務主任)

中野 雅和(吉田中教務主任)

溝上 圭太(吉田小事務職員)

諸富 淳一朗(吉田中事務職員)

★第1回学校運営協議会を開催しました

第1回学校運営協議会が6月9日に開催されました。冒頭、杉崎教育長から「吉田小中は地域とのつながりが大変強いと聞いている。今後とも子どもたちがすくすく育つよう、御協力いただきたい。」との挨拶がありました。今回の会議では、今年度の学校運営方針や学校評価計画について各校の校長から説明するとともに小学校・中学校の部会ごとに分かれ意見交換等が行われました。

小学校部会では、これからの情報化社会の中で子どもたちが確かな情報を得て、自分の考えを持ち、示すことが大事になってくるため、昨年度から新聞活用し

た教育活動（NIE=Newspaper in Education）に取り組んでいることをお伝えしました。その他にも、地域での挨拶が防犯にもつながるといった意見や人前での表現力を身に付けるためにも他校との交流を取り入れてみてはどうかといった意見をいただきました。

中学校部会では、委員の方から「生徒が中学校を卒業し高校に入学した際に、限られた人数で中学校生活を送っていたために、他の中学校の卒業生とうまく人間関係づくりができない傾向がある」との指摘がありました。また、校内での自己表現の機会を増やし、他校との交流を含めた取組も推進してほしいとの意見が出ました。

★吉田小学校に新しい児童書を購入しました



吉田小学校では、学校運営協議会の予算を活用して図書室に SDGs に関する児童書計10冊を購入しました。小学校では、昨年度から新聞を活用した教育活動（NIE）に取り組んでいます。本年度はその取組の一環として、5月に低・中・高の各学年と学校長で SDGs について学ぶ時間も設けました。本を通して吉田の子どもたちが SDGs についてさらに理解を深めるとともに、心豊かに成長してくれることを願っています。



★吉田小中クリーン大作戦

7月11日に雨で延期となっていた学校周辺の清掃活動「吉田小中クリーン大作戦」を行いました。当日は天候にも恵まれ、吉田公民館や吉田保育園の清掃活動や学校周辺の通学路に落ちている多くのごみを拾うことができました。また、この活動を通して、小学1年生から中学3年生までの交流を深めるとともに、自分たちの住む地域の環境を守ることの大切さを学ぶ良い機会となりました。



★「全校スピーチ」&「放送版全校スピーチ」

吉田中学校では、年間（全8回）を通じて全校スピーチに取り組んでいます。全校生徒の前で、テーマに沿ったスピーチを年間計画に沿って全生徒が行います。第1回（5月29日）は「新学年で2ヶ月過ごしてみて感じたこと」、第2回（6月28日）は「私の好きな吉田」、第3回（7月13日）は「夏休みに挑戦したいこと」というテーマで行いました。スピーチをする生徒は、テーマに沿って伝えたいことを考え、原稿を見ずに話すことができるように練習をして本番に臨みます。また、聴く生徒はメモをとったり、発表者に質問したりします。発表者はそれぞれの思いや考えを述べていました。

また、今年度は、生徒会の取組で「放送版全校スピーチ」にも取り組んでいます。帰りの会中に放送で全校生徒に向けて、自分で設定したテーマでスピーチを行います。人前でも物怖じせず自分の考えを発言する力とコミュニケーション能力の向上を期待しています。

